

報 告 書 抄 録

ふりがな	ひえいせき・どうのうしろいせき							
書 名	比江遺跡・堂ノ後遺跡							
シリーズ名	近江八幡守山線補助道路整備工事に伴う発掘調査報告書							
編 著 者 名	鈴木康二・株式会社古環境研究所							
編 集 機 関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所 在 地	〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 077-528-4675			〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1732番2号 077-548-9780				
発 行 年 月	令和2年(2020年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ひえ 比江遺跡	やすしひえ 野洲市比江	252107	001	35度 5分 27秒	136度 0分 28秒	20180413 ↓ 20180809	741㎡	近江八幡守山線補助 道路整備工事
どうのうしろ 堂ノ後遺跡	やすしひえ 野洲市比江	252107	004	35度 5分 29秒	136度 0分 29秒	20180413 ↓ 20180809	1173㎡	近江八幡守山線補助 道路整備工事
所収遺跡名	種 別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
比江遺跡	集落跡	江戸時代		溝跡		陶器・磁器・簀		
堂ノ後遺跡	集落跡	鎌倉～室町時代		溝跡・土坑・小穴		土師器・黒色土器・ 瓦器・瓦質土器・ 陶器・磁器・漆塗椀		
		江戸時代		溝跡		土師器・黒色土器・ 染付磁器・木製下駄		
要 約	<p>今回の調査区は、比江遺跡の西端、堂ノ後遺跡の南端に位置する。T1・2が堂ノ後遺跡、T3が比江遺跡に該当する。T1・2では、溝跡・土坑・小穴等を検出し、その埋土から土師器皿や黒色土器碗等のほか、溝からは漆塗椀や木製下駄などが出土した。これらはおおよそ中世頃の所産と考えられる。T3では、遺構としては溝跡を検出し、遺物では肥前系を含む染付磁器碗や金属製の簀などが出土している。そのほか奈良・平安時代の遺物も若干量出土した。</p>							